

# 平成 27 年度 事業報告書

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

社会福祉法人 豊生会  
三恵保育園

## 平成27年度 三恵保育園事業報告書

### 1 保育園の運営

(1)定員 170名

(2)年齢別・月別入所児童数(各月初日現在)

年齢 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳 児	4	4	8	8	8	9	11	11	11	12	12	12	110
1～2歳児	50	50	51	51	51	51	50	51	51	51	51	51	609
3 歳 児	36	36	35	34	36	36	36	36	36	36	36	36	429
4歳以上児	72	73	73	73	73	73	73	73	73	72	72	72	872
計	162	163	167	166	168	169	170	171	171	171	171	171	2020

(3)職員数 平成27年度初 29名 平成27年度末 29名

(4)職員の異動

- ①採用 4名
- ②退職 2名
- ③休業 1名(4/1～8/31 育休)

(5)職員会議等の開催状況

毎月2回開催し、保育当番以外の正規の職員が参加した。臨時職員においては、昼休みに行なわれる2回目の会議に保育の支障のない範囲で参加した。

子どもが安心して楽しめる環境づくりを目指し、各クラスの様子や保育の確認、行事等の打ち合わせを行ない、必要に応じて反省会を開き今後の課題として話し合った。

また、4月・7月・11月・1月に給食会議を開き、給食室内部の不具合等を話し合い、より作業しやすい環境づくりに努めたり、残飯の量で子どもたちの食べ具合を確認したり、職員の意見を聞き、よりよい献立作りに努力した。アレルギー児においてはその子どもの経過を話し合った。

職員会議、給食会議の内容は、議事録として記録した後、回覧によって出席できなかった職員にも正確に伝わるようにした。

また、3ヶ月間の共通目標を職員から募り、投票で決定した目標については、期間終了月の会議で、クラスごとに結果を報告した。

## 2 保育の実施状況

### (1) 保育・運営理念

- \*子どもたちが「今日も来てよかった。明日も来たいな」と思える保育園
- \*保護者が安心して子どもをあずけ、働ける保育園
- \*地域から「あって良かった」と感じ、言ってもらえる保育園

### (2) 保育目標

- \*温かな雰囲気の中で、互いの命を大切にできる安定した情緒を育てる。
- \*様々な体験を通して、健康をはぐくみ、興味関心をもち、言葉や創造力を育てる。
- \*高齢者や友達との関わりを通し道徳性の芽生えを培い、豊かな人間性を育てる。

### (3) 保育時間

子ども・子育て支援新制度施行に伴い、保育を必要とする子どもについて、保育必要量の認定を行い、一日最大11時間施設を利用できる保育標準時間認定と、一日最大8時間施設を利用できる保育短時間認定の2種類に分けられることになった。

- \*保育標準時間認定…午前7時30分～午後6時30分  
(延長保育時間 午後6時30分～午後7時00分)

- \*保育短時間認定……午前8時30分～午後4時30分  
(延長保育時間 午前7時30分～午前8時30分  
及び 午後4時30分～午後7時00分)

延長保育については、時間帯により延長保育利用料を徴収する。

### (4) 保育内容

- ◎保育目標に基づき、子どもの情緒が安定した生活ができるような環境に配慮し、またひとりひとりが自己を十分発揮して、積極的に活動できるようにした。
- ◎基本的な生活習慣や集団生活に必要なルールを遊びの中で身につけさせていった。
- ◎マーチング・体育教室を通して、機敏な動作、正しい姿勢や責任感を身につけさせた。また、目標に向かって協力し合い、個々の役割を果たすことで達成感を味わい、クラスとしてのつながりを深めていった。
- ◎法人内の老人施設との交流において、老人に対するいたわりの心や親切、感謝などの気持ちを持たせていった。
- ◎食育の一環として、年長児を中心にじゃが芋、玉ねぎなどを育て、収穫した野菜は、昼食やおやつとして調理したものを食べたり、年長児に持ち帰らせたりして食物への関心を深めていった。(畑が特別養護老人ホーム建設地にあるため、今年はさつま芋の苗植え及び収穫は断念)

食べ物に係る行事において、給食職員が材料や作り方の手順及び行事の由来などを子どもたちに説明することで、より食に対する関心を持たせることができた。

◎行事は、年間行事予定に従い行われた。発表会とクリスマス会を別日に設けたり、運動会と発表会には、総練習日を祖父母観覧日(長寿荘・アミカル入居者観覧)としたことで、混雑を避けられたとともに、それぞれがゆつくりと楽しむことができた。

◎遠足に参加しない未満児は、豊生会のマイクロバスで園外保育に出かけ、自然に触れることにより豊かな心を育てるようにした。

◎特別支援児童への対応

発達に心配のある児童については、クラス担任がその子どもの様子を把握した上で、高崎市で行なわれる発達巡回相談を利用して相談し、昨年が続いて臨床発達心理士である久保園敏明先生と発達支援センター職員と共に園児の様子を観察し助言をいただいた。

また、保護者とも懇談する場を設け、家庭と保育園が一体となって園児の対応にあたっていけるよう配慮した。

#### (5) 外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導日及び特記事項
鼓笛指導	稲垣摩美	毎月1回(年長・年中)
		6月の保育参観日には年長の保護者にも鼓笛体験をしていただいた。
体育指導	堤 彩乃	毎週水曜日(年長)・隔週水曜日(年中)
		6/3及び11/4に、年長児対象に運動測定を実施し、「そだちの記録」として成長記録をお知らせした。
英語指導	アレックス・フォン アルテンシュタット	毎週金曜日(年長)
		2月の保育参観日には、指導の様子を保護者にも観ていただいた。

#### (6) 実施した特別保育事業名

◎延長保育促進事業

◎保育所地域活動事業 世代間交流等事業

### 3 給食の実施状況

0～2歳児 完全給食に加え、10時と15時のおやつを実施

乳児については、家庭での離乳食の進行状況にあわせて進めた。

3～5歳児 完全給食に加え、15時のおやつを実施

◎近年、アレルギーを持つ子どもが増え、その種類も様々になってきた。混入や誤食を防ぐため、対象児のお盆や食器は専用の物をそれぞれ用意し、給食職員だけでなく職員全員が周知したうえで数人による確認を行った。

- ◎3時のおやつには、工夫を凝らした手作りのものを多く取り入れた。市販のものを利用する場合は、無添加のものを与えた。
- ◎年齢による咀嚼力の差を考慮しながら、あごの筋肉を鍛えるため噛み応えのあるものを提供した。
- ◎味付けは化学調味料を使用せず、素材の味・風味をいかした薄味にした。
- ◎入口付近にその日の献立を展示して、保護者にもわかりやすく伝えた。降園時には、親子で楽しそうに話している様子が見られた。
- ◎給食職員が一人1回保育室に入って園児と会食をし、会話の中で食に対する意識を高めた。そして、子どもたちの食べる様子を観察することで、その日の献立の反省などをリアルタイムで感じることができた。  
また、食前食後の挨拶で感謝をしていただくという気持ちをもたせ、みんなで食べる楽しさや行儀面の意識を高めた。
- ◎保育参観では、4・5歳児の保護者に試食をしてもらったり、人気のあるメニューのレシピを作成したりして、保護者にも給食に関心を持ってもらった。
- ◎群馬県健康づくり財団に年2回検体を提出し、7/9には黄色ブドウ球菌を、12/4には大腸菌群の検査を実施。いずれも異常なし。

#### 4 健康管理の実施状況

##### (1) 児童

###### ①内科健診

年2回(6/23・11/25)園嘱託医による健康診断を実施。健診当日に欠席した児童は後日受診し、全園児の健康管理に努めた。

###### ②歯科検診

年1回(6/23)園嘱託医による健康診断を実施。検診当日に欠席した児童は後日受診し、全園児の健康管理に努めた。

③年1回(6/5提出)、全園児及び全職員がぎょう虫検査を実施。全員異常なし。

④毎月身体測定を行い、計測値はおはようブックの身長体重測定表に記入。

⑤2月にインフルエンザが流行り、10名以上の園児が発症したため、保健所と市役所・嘱託医に報告。発生したクラスには、体温記録表を配布し、おりこうメール等で注意を呼びかけて家庭との連携をとり園児の体調把握に努めた。3月25日に終結。

⑥市から配布される「ほけんだより」を配布・掲示して、健康管理や感染症などの注意を促した。

##### (2) 職員

###### ①定期健康診断

日高病院にて、職員が健康診断を7月～8月に実施。

(一般健診対象者が7名、政管生活習慣病予防健診対象者が22名)

## ②検便

月に1～2回(季節による)、高崎・地域医療センターに依頼し、「赤痢菌・サルモネラ菌・病原性大腸菌(O-157)」の検査を、給食職員・0歳児担当職員及び緊急時にサポート出来るよう主任保育士と主任事務員が交互に実施。全員異常なし。

## ③予防接種

ひぐち内科クリニックに依頼して、11月に全職員がインフルエンザ予防接種を受けた。

## 5 非常災害危機防止等防災訓練の実施状況

### (1)避難訓練

- \*月1回避難訓練を行い、火災・地震等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導。
- \*高崎市の補助金により、新入園児分の防災頭巾を購入し、訓練の際には全員が防災頭巾を装着して避難した。
- \*2月16日には、不審者侵入を想定した訓練を行なった。
- \*毎年3月に行う北消防署員立会いの避難訓練については、0歳児室増築工事のため園庭の使用ができないため、今年度は中止とした。

### (2)交通安全

高崎市交通地域安全課よる「幼児安全教室」が行われ、交通ルールに関しての指導を受けた。7月28日には、園内ホールにて4・5歳児を対象に交通安全について興味を持たせ、ルールを守ることの大切さの指導を受けた。

2月25日の交通公園での交通安全教室では、保護者会役員数名と共に年長児33名が交通の決まりに従った歩行練習などの指導を受けた。

## 6 研修

### ◎職員の外部研修会への参加状況

27・4・24	保育関係行政説明会	山崎
5・18	コーディネーター研修会「明日から使える理論と技法」	阿部
6・8	コーディネーター研修会「気になる子どもの見方・捉え方」	阿部
9	プール管理講習会	梁瀬
13	ステップアップ研修会	相原・柳澤
16	補助金申請説明会	田中
22	普通救命講習会	今
23～24	県外視察研修会「栃木県 認定こども園 あかみ幼稚園」他	土屋
24	看護師情報交換会	小板橋
27	民間保育園協議会講演会「0～2歳の発達について」	土屋
7・1	コーディネーター研修会「保護者支援を考える」	阿部
7	中堅保育士研修会	柳澤

8・5	衛生管理研修会	山崎
20	個人支援会議	田中・相原
25	健康・安全研修会「乳幼児の疾病・事故の応急処置」他	金
8・25	給食従事者研修会「日本人の食事摂取基準」他	松田
10・7	街頭募金運動	土屋
14	男性保育士研修会「明日から使える歌あそび」	柳澤
14	給食従事者研修会「読まれる給食だよりの作り方のコツ」	松田
19	食物アレルギー講演会「保育園における食物アレルギー児への対応」	松田
30	リーダ的保育士研修会「保護者支援への取り組み」	今
11・2	主任保育士研修会「子どもを台所に立たせよう」	浅川
2	給食分科会施設見学会「茨城県 タカノフーズ」他	藤巻
20	コーディネータースキルアップ研修会「楽しく役立つ支援グッズ」	阿部
26	個人支援会議	田中・相原
27	保育園の衛生管理研修会「保育園のノロウイルス対策について」	松田
12・10	コーディネータースキルアップ研修会「運動遊びで発達を促す」	阿部
21	個人支援会議	田中・相原
28・1・13	コーディネータースキルアップ研修会「ことばの育ちを考える」	阿部
21	個人支援会議	田中・相原
2・2	西毛支部研修会「春から使えるリズム遊びを学ぶ」	小野里
4	障害児保育研修会「発達の気になる子どものことばコミュニケーション」	金
23～24	保育士研修会「視察 東京ディズニーリゾート」	小池
3・27～29	音研宿泊講習会(H28年度 新採用職員参加)	矢内

## 7 保育実習生、中学生職場体験等の受け入れ状況

### (1) 保育実習生

期 間	学 校 名	氏 名
27・7・21～8・3	東京福祉大学	武井梨香
27・7・31～8・14	東京保育専門学校	吉田美紀
27・8・3～8・15	群馬医療福祉大学	陸川大海
27・8・17～8・28	育英短期大学	矢内友理
27・9・7～9・19	群馬医療福祉大学	小野友梨奈
27・11・4～11・17	新島短期大学	大塚視帆
27・11・24～12・8	群馬社会福祉専門学校	兼重香織
28・2・8～2・22	高崎健康福祉大学	齋藤彩夏
28・2・8～2・25	育英短期大学	新井萌恵
27・6・1～11・25	高崎市医師会看護専門学校	70名(2日ずつ)

## (2) 職場体験学習

期 間	学校名・学年	備 考
27・5・25～5・29	中尾中学校2年	4名

## (3) ボランティア

期 間	時 間	学 校 名	氏 名
27・8・17～19	9:00～17:00	育英短期大学	新井萌恵
27・8・17～22	9:00～17:00	高崎健康福祉大学	齋藤彩夏
27・8・28～27・11	8:30～17:00	群馬医療福祉大学	陸川大海
27・10・10	9:00～12:00	育英短大・群医福大	矢内友理・小野友梨奈
27・12・12、12・19	9:00～15:00	新島短期大学	早坂勇紀
28・3・14～16	8:30～17:30	育英短期大学	中村清美
28・3・28	12:00～18:00	高崎健康福祉大学	齋藤彩夏

## 8 0歳児室増改築工事

特別養護老人ホーム長寿荘建設に伴い、職員の長年の希望でもあった0歳児独自の保育室の増築を、平成27年度 保育所等緊急整備事業費補助金を利用し計画を立てた。

- ・6月…高崎市へ事前協議書類提出
- ・7月…(株)堅山設計事務所へ設計依頼、補助金申請書提出
- ・9月…補助金交付決定 16,724,000 円、地盤調査、園庭の遊具及び外構の撤去作業
- ・10月…理事会にて承認、高崎市へ業者選定報告(8社)、現場説明会  
(独)福祉医療機構へ借入金の申込書提出 18,000,000 円
- ・11月…入札(出席者:理事長・市職員2名・理事2名・監事1名・事務局長・園長・田中)  
落札は(株)清水に決定
- ・12月…アマカルにて地元説明会(長寿荘及び保育園合同での説明会)  
工事着工(12/1)、起工式(12/4)
- ・1月…毎週月曜日に工事打ち合わせ
- ・3月…工事完了・引き渡し(3/15)、高崎市による工事完了検査  
(独)福祉医療機構より借入金入金  
平成28年4月以降…群馬県による実地検査(4/25)  
高崎市より補助金入金(5/13)  
0歳児の受入人数は12人から15人となる。

## 9 その他

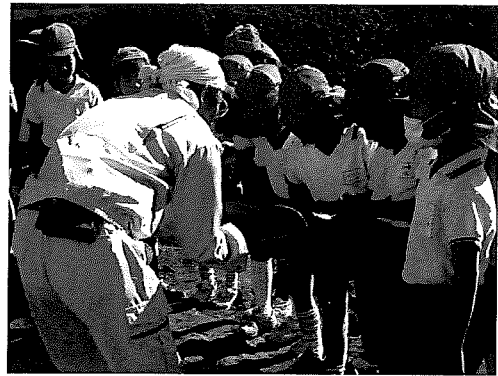
\*理事長のご厚意により、昨年に引き続き園外保育として、10/29にサンコー72カントリーへ年長児が出かけ、芝スキーやパットゴルフを楽しんだ。





\*4/20に前橋保護観察所から1名来園。年少児の子どもたちと交流。

\*10/28には、新「長寿荘」建設に伴う「埋蔵文化財発掘調査」において、年長児が現場に入り、縄文式遺跡体験という貴重な体験をさせていただいた。



\*11月のお誕生会には、「軽井沢おもちゃ王国」からキャラクターが来園。子どもたちと歌やダンスを楽しんだ。

\*2/15に保護者会の希望で群馬テレビ「ポチッと君体操」の収録が行われた。年長児33名と役員及び役員の子どもたちが出演。3/29～1週間放送された。

\*苦情処理受付状況…1件

降園時、4歳児男児が一人で帰宅してしまった。幸い事故はなかったが保護者からの苦情の投書を受け、職員会議で苦情解決に向けた話し合いを行った。

その結果、北口のドライブスルーでは、各クラスの担任が付いて人数確認をする他に、正面玄関前で園長または主任が立ち、園児の降園を見守り危機管理に努めた。